



## 2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 タツモ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6266 URL <http://www.tazmo.co.jp/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 亀山 重夫

TEL 0866-62-0923

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	8,432	1.3	435	39.8	397	43.1	269	52.7
2018年12月期第2四半期	8,539	25.9	722	7.0	698	28.3	570	29.8

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 189百万円 ( 62.0%) 2018年12月期第2四半期 499百万円 ( 38.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	20.12	
2018年12月期第2四半期	50.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	25,195	9,836	38.5	721.67
2018年12月期	23,878	9,781	40.3	717.85

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 9,687百万円 2018年12月期 9,629百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態は、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		11.00	11.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,929	5.8	1,051	34.6	1,025	35.0	801	45.8	59.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	13,508,300 株	2018年12月期	13,508,300 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	83,860 株	2018年12月期	93,827 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	13,417,674 株	2018年12月期2Q	11,408,463 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(受注状況)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、雇用・所得環境の改善が続き景気は緩やかな回復基調であったものの、米中貿易摩擦の長期化による中国経済のさらなる減速懸念など先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、自動化向けなどの電子部品の需要の拡大が見込まれていたものの、中国経済の成長鈍化やスマートフォン関連の需要低迷の影響を受け設備投資に慎重な姿勢が見られるようになりました。

このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発と積極的な営業を展開してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は84億32百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益4億35百万円（前年同期比39.8%減）、経常利益3億97百万円（前年同期比43.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億69百万円（前年同期比52.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (プロセス機器事業)

半導体装置部門につきましては、スマートフォン関連の需要低迷の影響を受け、売上高は9億74百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

搬送装置部門につきましては、納期や価格は厳しい状況ですが、一部の半導体装置メーカーの需要持ち直しにより、売上高は28億46百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

洗浄装置部門につきましては、洗浄装置の検収遅延のため、売上高は7億17百万円（前年同期比26.4%減）となりました。

コーター部門につきましては、海外の大型装置の販売減少のため、売上高は14億36百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は59億74百万円（前年同期比11.2%減）、営業利益3億46百万円（前年同期比49.3%減）となりました。

#### (金型・樹脂成形事業)

金型・樹脂成形事業につきましては、中国経済の減速やスマートフォン関連の需要低迷の影響を受けたため、売上高は7億2百万円（前年同期比15.3%減）、営業利益5百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

#### (表面処理用機器事業)

表面処理用機器事業につきましては、車載用プリント基板メーカーの設備投資が堅調であったため、売上高は17億55百万円（前年同期比78.9%増）、営業利益90百万円（前年同期比181.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は192億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億24百万円増加しました。これは「たな卸資産」の増加が主な要因であります。有形固定資産は49億68百万円となり、前連結会計年度末より2億67百万円増加しました。これは新社屋の建設及び海外子会社の設備等の増加が主な要因であります。無形固定資産は1億72百万円となり、前連結会計年度末より32百万円増加しました。これは新システム導入による「ソフトウェア」の増加が主な要因であります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億16百万円増加し、251億95百万円となりました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は112億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億52百万円の減少となりました。これは、装置の出荷に伴う「前受金」の増加があったものの「短期借入金」が減少したことが主な要因であります。固定負債は41億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億14百万円の増加となりました。これは、「長期借入金」の増加が主な要因であります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ12億62百万円増加し、153億59百万円となりました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は98億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による「利益剰余金」の増加が主な要因であります。

②当四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は25億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億74百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、獲得した資金は58百万円(前年同期比5億77百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、使用した資金は3億91百万円(前年同期比2億1百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、獲得した資金は1億74百万円(前年同期は5億94百万円の支出)となりました。これは主に長期借入れによる収入等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2019年2月12日に公表いたしました「平成30年12月期通期決算短信〔日本基準〕(連結)」の2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,755,850	2,580,565
受取手形及び売掛金	3,662,667	3,596,729
電子記録債権	1,487,029	1,811,975
たな卸資産	9,151,253	10,459,122
その他	1,187,061	819,725
流動資産合計	18,243,861	19,268,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,063,694	2,003,452
機械装置及び運搬具（純額）	501,568	531,706
土地	1,259,555	1,259,555
その他（純額）	875,671	1,173,327
有形固定資産合計	4,700,489	4,968,041
無形固定資産		
のれん	51,024	30,614
ソフトウェア	83,280	135,909
その他	5,930	5,876
無形固定資産合計	140,235	172,400
投資その他の資産		
投資有価証券	832	931
繰延税金資産	359,970	363,026
その他	434,156	423,378
貸倒引当金	△562	△562
投資その他の資産合計	794,397	786,774
固定資産合計	5,635,121	5,927,216
資産合計	23,878,983	25,195,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,687,618	2,007,403
電子記録債務	1,894,344	1,351,293
短期借入金	3,370,784	2,126,882
未払金	1,144,092	958,254
未払法人税等	224,930	155,957
前受金	2,949,604	4,161,456
賞与引当金	77,285	98,087
製品保証引当金	286,439	250,548
株式給付引当金	9,871	5,833
その他	61,768	138,758
流動負債合計	11,706,740	11,254,477
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,488,367	3,061,472
株式給付引当金	139,991	161,560
役員退職慰労引当金	10,510	12,806
役員株式給付引当金	46,743	46,935
退職給付に係る負債	160,386	171,010
資産除去債務	90,689	90,979
その他	153,627	259,970
固定負債合計	2,390,315	4,104,735
負債合計	14,097,056	15,359,213
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,724,067	2,724,067
資本剰余金	2,645,988	2,645,988
利益剰余金	4,427,308	4,542,984
自己株式	△207,830	△185,421
株主資本合計	9,589,533	9,727,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	37
繰延ヘッジ損益	—	111
為替換算調整勘定	40,048	△39,795
その他の包括利益累計額合計	40,045	△39,646
非支配株主持分	152,348	148,150
純資産合計	9,781,927	9,836,122
負債純資産合計	23,878,983	25,195,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,539,716	8,432,636
売上原価	6,064,805	6,304,427
売上総利益	2,474,911	2,128,208
販売費及び一般管理費	1,751,954	1,692,962
営業利益	722,957	435,245
営業外収益		
受取利息	2,689	4,462
補助金収入	32,989	25,308
その他	6,478	9,476
営業外収益合計	42,157	39,247
営業外費用		
支払利息	21,940	28,192
為替差損	32,239	44,261
社債発行費	6,175	-
その他	5,981	4,383
営業外費用合計	66,336	76,837
経常利益	698,778	397,655
特別利益		
固定資産売却益	14,103	9,999
特別利益合計	14,103	9,999
税金等調整前四半期純利益	712,881	407,655
法人税等	134,041	135,747
四半期純利益	578,839	271,908
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,340	1,942
親会社株主に帰属する四半期純利益	570,499	269,965

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	578,839	271,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	39
繰延ヘッジ損益	1,139	111
為替換算調整勘定	△80,672	△82,483
その他の包括利益合計	△79,531	△82,331
四半期包括利益	499,308	189,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494,929	190,274
非支配株主に係る四半期包括利益	4,378	△698

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	712,881	407,655
減価償却費	201,482	202,923
のれん償却額	20,409	20,409
固定資産売却損益(△は益)	△14,103	△9,999
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,437	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,060	21,329
株式給付引当金の増減額	7,888	17,530
役員株式給付引当金の増減額	13,302	191
売上債権の増減額(△は増加)	△409,216	△328,016
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,560,690	△1,374,203
仕入債務の増減額(△は減少)	728,036	△143,820
前受金の増減額(△は減少)	1,205,083	1,271,788
その他	△82,083	176,676
小計	819,491	262,466
法人税等の支払額	△164,426	△180,223
その他の支出	△19,251	△23,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	635,813	58,518
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△29,264
定期預金の払戻による収入	—	29,264
有形固定資産の売却による収入	14,209	10,000
有形固定資産の取得による支出	△207,706	△347,199
無形固定資産の取得による支出	△41,155	△58,936
その他	44,765	5,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,886	△391,096
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△630,768	△1,666,189
長期借入れによる収入	400,000	2,800,000
長期借入金の返済による支出	△551,003	△804,607
社債の発行による収入	293,824	—
配当金の支払額	△90,288	△149,305
非支配株主への配当金の支払額	△4,980	—
その他	△11,502	△5,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△594,717	174,115
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,383	△16,202
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△177,173	△174,665
現金及び現金同等物の期首残高	2,202,990	2,726,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,025,817	2,551,859

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂成 形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,729,191	829,075	981,450	8,539,716	—	8,539,716
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	35,131	—	35,131	△35,131	—
計	6,729,191	864,206	981,450	8,574,848	△35,131	8,539,716
セグメント利益	684,113	6,788	32,054	722,957	—	722,957

(注) 1. 調整額は、セグメント間売上の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂成 形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,974,593	702,175	1,755,867	8,432,636	—	8,432,636
セグメント間の内部売上 高又は振替高	98,536	33,300	23,491	155,328	△155,328	—
計	6,073,129	735,476	1,779,359	8,587,964	△155,328	8,432,636
セグメント利益	346,544	5,350	90,147	442,042	△6,796	435,245

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 補足情報

(受注状況)

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

1. 受注高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日) (千円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	7,991,708	6,995,035	87.5
半導体装置	950,082	2,253,672	237.2
搬送装置	3,046,105	2,956,964	97.1
洗浄装置	1,185,434	534,626	45.1
コーター	2,810,085	1,249,772	44.5
金型・樹脂成形事業	899,148	654,383	72.8
表面処理用機器事業	2,354,174	2,441,123	103.7
合計	11,245,030	10,090,541	89.7

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 受注残高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日) (千円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	11,591,644	10,908,360	94.1
半導体装置	2,153,599	2,879,252	133.7
搬送装置	2,502,876	2,277,123	91.0
洗浄装置	2,015,082	2,079,510	103.2
コーター	4,920,086	3,672,474	74.6
金型・樹脂成形事業	278,383	161,606	58.1
表面処理用機器事業	2,008,214	2,893,055	144.1
合計	13,878,241	13,963,022	100.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。